

釣り中の事故防止3つのポイント

1 天気や体調を確認し無理をしない!



Point1

- ◆事前に釣り場の天気を確認しましょう。
- ◆釣り中も、波が高かったり、風が強いときは、すぐに釣りを止めましょう。
- ◆自分の体調に素直になって無理をしないでね。



2 行き先を第三者に伝え単独行動しない!



Point2

- ◆仲間と一緒に釣りを楽しみましょう。
- ◆仲間と行動していれば、万が一海に落ちても、助かる可能性が高くなります。
- ◆釣りに行く場所や帰宅時間を家族等に伝えましょう。



3 立入禁止区域内に入らない!



Point3

- ◆「立入禁止」や「釣り禁止」の場所には、絶対に入らないようにしましょう。
- ◆防波堤や岸壁は、「立入禁止」や「釣り禁止」になっている場所が多いので、釣りをする前に確認しましょう。



釣りをするとき最低限必要な装備

1 ライフジャケット

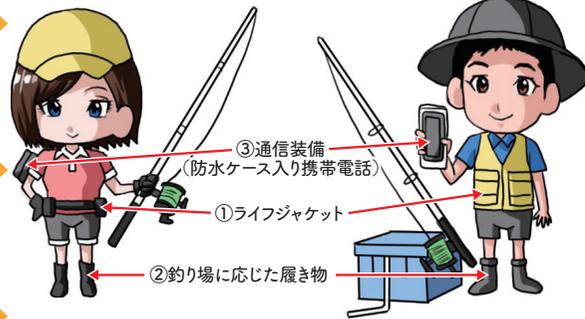
ライフジャケットは命を守る大切な装備です。釣り中は、体格に合ったものを常時着用しましょう。

2 釣り場に合った履き物

釣り場は水辺に近いので、滑りやすくなっています。釣り場の環境に合わせた、滑り止め効果の高い、脱げにくい靴を履きましょう。

3 通信装備 (携帯電話)

緊急時の連絡手段として携帯電話を忘れずに、携帯電話は防水ケースに入れましょう。
緊急通報用電話番号：118番 (海上保安庁)、110番 (警察)、119番 (消防)



遊漁船を利用する皆様へ

遊漁船利用者の事故の特徴

遊漁客の事故は「負傷」、遊漁船・磯等からの「海中転落」が多く、船体の「動揺」、遊漁船・磯等への「移乗時」に発生、海中転落による死者・行方不明者の8割が救命胴衣非着用です。

遊漁船利用者自らが行う安全対策

遊漁船に乗る際は**お酒を控えましょう**。平衡感覚の乱れ等に繋がりが危険です。遊漁船の航行中は特に**船体動揺に注意**しましょう。出港から寄港までの間、船室内を除き**常時ライフジャケットを着用**しましょう。



Let's Enjoy Fishing!

釣りをする方は、これだけは守ってね!



その1 天気や体調を確認し無理をしない!
その2 行き先を第三者に伝え単独行動しない!
その3 立入禁止区域内に入らない!

アングラー: 上園歩美さん

釣りに行く前にcheck!
海上保安庁 YouTube



第十管区海上保安本部

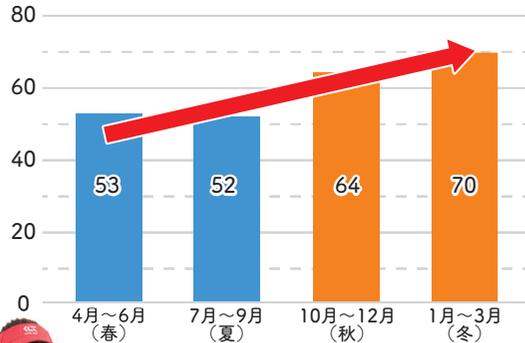
〒890-8510 鹿児島県鹿児島市東郡元町4-1
電話 099-250-9800

海の「事件・事故」は
海上保安庁につながる

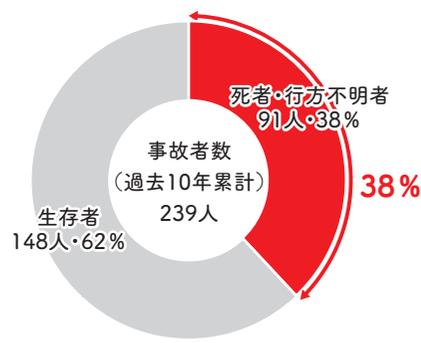
118番

第十管区（熊本県・宮崎県・鹿児島県）の釣りの事故の特徴（過去10年間の累計 H25～R4）

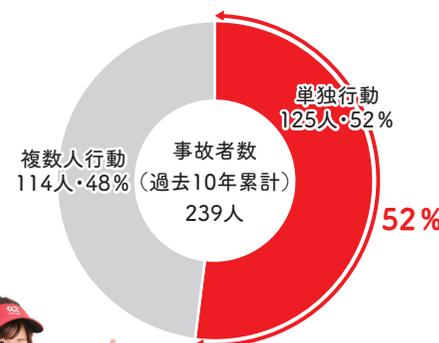
季節別の事故発生状況



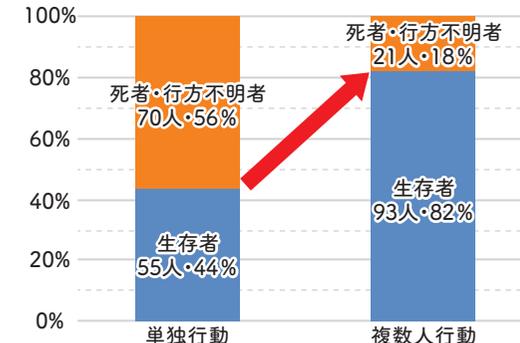
事故による死者・行方不明者



事故者の行動形態別発生状況



事故者の行動形態別生存割合

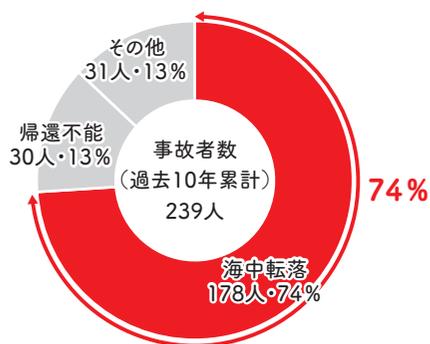


- 事故は秋から冬に多く発生しています。
- 事故に遭われた人の4割が死亡、行方不明になっています。
- 釣りは誰でも手軽に楽しめる反面、事故に遭うと死亡率が高いレジャーであることを忘れずに！

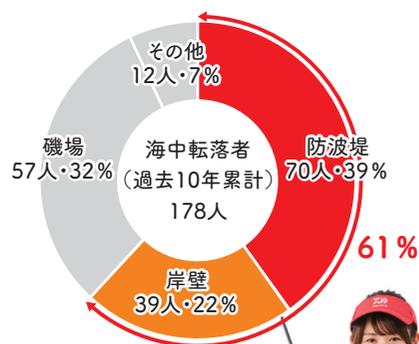


- 複数人で釣りに行く人は、事故に遭っても助かる可能性が高いです（生存率は2倍！）。
- 家族や友達などと一緒にいきましょう！

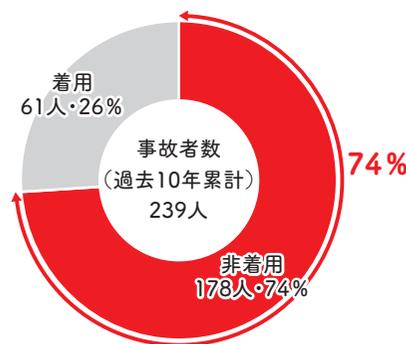
事故内容別の発生状況



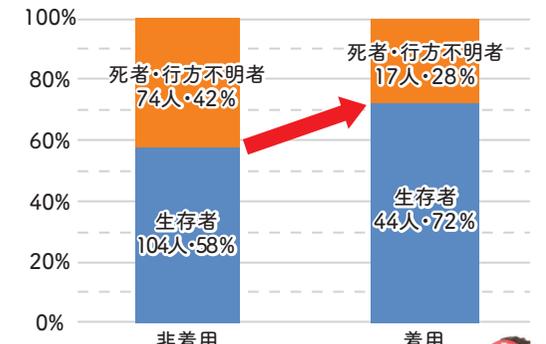
海中転落者の場所別発生状況



事故者の救命胴衣着用割合



事故者の救命胴衣着用/非着用の生存割合



- 事故者の7割以上が海中転落による事故です。
- 海中転落事故は、6割以上が防波堤や岸壁で起きています。
- 釣り中に転倒して海中転落する事例が多いので、足下の確認も忘れずに！

- 釣り人の救命胴衣着用率は2割強と極めて低い状況です。
- 救命胴衣を着用することで生存率は高まります。
- 釣り中は、救命胴衣を常時着用しましょう！

ウォーターセーフティガイド（釣り編）

釣り中の事故を防止するための安全情報サイト



海の安全情報

全国各地の灯台等で観測した風向、風速などの「海の安全情報」をリアルタイムに提供しています。



パソコン用



スマートフォン用

自己救命策の確保3つの基本



ライフジャケットの常時着用



連絡手段の確保



118番の活用